

片山タイムズ

第三号
令和四年
七月吉日

今月のお道具



白漆長棗

白漆長棗 (中村 湖彩)
この時期にぴったりな、長棗です。白漆を使っていきます。

棗の漆の色といえば、みなさんいつものお稽古でも使うのや茶会を思いだしていただくのが黒、たまに赤いのが思い出されるところです。実は漆自体は樹液ですので透き通った、または白濁した茶色をしています。そこに色粉をまぜて様々な色にします。

ただし、樹液自体が茶色がかっているため、白真つ白なものを作ることはできないのでこのような色になります。

この時期は何となく涼しげでよいかと思います。お稽古でご実感いただくと幸いです。

中村湖彩(なかもらこさい) 蒔絵師

中村湖彩(本名 淳司)

昭和30年 石川県山中町に生まれる。

蒔絵師 表正則氏に師事

5年間修業の後、独立。

みずのいろ製造元
つちや

<https://www.kakiyokan.com>



道祖神 製造元
開運堂

<https://www.kaiundo.co.jp/>



お菓子紹介

過去にお稽古や、当社主催の茶会でお出ししたお菓子をご紹介します。

みずのいろ

水の都という、世界的にはヴェネチアとかアムステルダムを想像しますが、日本国内ではどこをみなさんは思い浮かべますか？ 県内だと、富士山の湧水が豊富で三島茶碗の名前の元となった、三島市を思い浮かべますが、岐阜県大垣市も水の都として有名です。大垣市は豊富な地下水に恵まれておりそこで生まれたお菓子が「みずのいろ」です。

様々な色へと変化する水をイメージとしており、千錦玉糖を素材にハーブを使用し五色五味となっています。と当時は紹介していましたが、現在は六色のようにです。平成30年の吐月峰の月窓でお出ししたお菓子です。



(上)みずのいろ / (下)道祖神



道祖神

道祖神(どうそじん、どうそしん)は、村境、峠などの路傍にあつて外来の疫病や悪霊を防ぐ神などの様々な信仰が生まれました。特に長野県安曇野では多くの道祖神がまつられ愛されています。その前後の姿をかわりらしく表現されています。和三盆に香ばしい小豆の焦がし粉がはいっており、独特の香ばしさがあります。平成28年の吐月峰の月窓でお出ししたお菓子です。

ある日のお稽古の茶花



お花はフヨウとウンナンシヨウマとアジサイです

フヨウ

一見してフヨウは同じ時期に使われるムクゲに似ているのでわかりにくいかもしれませんが、おしべが五つに分かれて曲がりながら上を向くのがフヨウ、まつすぐ伸びているのがムクゲですが、茶花だと開いていないのでわかりにくいですね。

そこで葉っぱでも見分けることもできます。ムクゲの葉の大きさは小さめで、形は鋸歯で切れ込みが入っています。一方、フヨウは大きな葉で手のひらのような形をしています。また葉っぱの色合いも違います。

お稽古にはムクゲが入っている日もありますから比較してまたご覧ください。

ウンナンシヨウマ

名前の通り中国の雲南省が原産です。この時期ラベンダーピンクの美しい花を咲かせよく茶花でも使われるのでご覧になるかもしれません。

花入れ

駿河竹千筋細工

静岡の伝統工芸品です。静岡市の駿府匠宿で作成体験もできます。駿河竹千筋の名前の由来は、畳の短いほうの長さ(約3尺)の長さの間に千本入るほどの細い竹ひごを使うところから、呼ばれるようになったとのこと。

お手伝い募集

当社中の伊久美雅世さんのお寺で、12年に一度の秘仏公開にあわせて、茶会を催します。是非社中の皆様のお力をお借りしたいとの依頼がありましたので、よろしくお願いたします。お稽古場に掲載されておりますので、お手伝いできる方はご記入願います。またお手伝いできなくても是非秘仏をご覧ください。

十二年に一度

秘仏公開

薬師瑠璃光如来像
御開帳

令和四年十月(一日至二日)巨縁日

お茶会へのお誘い

毎月2週目の日曜日に支部の月釜があります。2か所で開催し、場所は待月楼と吐月峰(共に静岡市駿河区丸子)になります。行ってみたい方は是非お稽古の時にお話しください。



過去の月釜の様子